

2014 度青島日本人会 総会

議 案 書

2014 年 4 月 19 日(土)
15 時 30 分～17 時
於:青島威斯汀酒店

第 1 号議案 2013 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 会計報告

第 3 号議案 会計監査報告

第 4 号議案 2014 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2014 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 収支予算案

以上

第1号議案

(1)2013年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
青木 邦夫

1.はじめに

会員の皆様、いつも青島日本人会の活動・運営に、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。また、本日はご多忙のなか、本総会にご出席頂き、厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましては、日中関係の関係改善の兆しがなかなか見えない状況下、日々猛スピードで変化する中国経済・社会のなかで、企業経営・日々の生活面で様々な問題・課題に直面され、ご多忙な日々を送られていることと思います。

さて、ここ青島ではこの4月より青島世界園芸博覧会が開催され、地下鉄1号線、2号線の建設も進み、新空港の建設計画も予定されています。急速なインフラ整備・都市の開発が進んでいく一方で、再開発による移転・立ち退きの問題、交通渋滞や環境汚染等の課題も残されたままになっています。また、人件費・諸物価の高騰、急激に進んだ円安等、在青島の日系企業を取り巻く経営環境は、日々厳しさを増しています。

こうした環境下、青島日本人会のなすべきことは会員相互の各種交流を通じて、明るく元気で活発な日本人社会を作っていく、お互いに助け合いより大きな力が発揮できるコミュニティーを育てていくことであると考えています。

2.青島日本人会の活動

ちょうど1年前の総会でご承認頂き青島日本人会会長を拝命致しましたが、会員の皆様のご協力・ご支援により、1年間の諸活動を終えることが出来ました。

昨年の総会終了後、時間を置かずして発生した四川省雅安市蘆山県を襲った大地震義捐金活動へのご協力、在青島日本国総領事館のご協力により鶏インフルエンザに関する講演会の実施、戦前に青島に住んでおられた元在青邦人の「青島里帰り会」の皆様との交流、各種競技に熱戦が繰り広げられた青島日本人会運動会の開催、青島市長、青島外商投資企業協会に対する青島市投資環境への提言書の提出、青島市事務局メンバーとの交流・意見交換会、青島ジャパンデイ2013の開催、そして昨年初めての試みであった日本人会納涼祭りの開催、地域貢献活動としての石老人海水

浴場清掃活動、初めて昼の時間帯の開催となった新年会とどの活動をとっても会員の皆様のサポート、ご協力がなければ、それぞれの活動を成功裏に成し遂げることができないものばかりでした。

一方、青島日本人学校の運営状況については、生徒数の減少に歯止めがかからず、厳しい財政状態が続いており、運営状況については各部会活動、各地域分会活動の際に、学校運営理事長より詳細を説明をさせて頂きました。そうした状況のなかで、青島日本人学校創設10周年記念式典への寄付金、また任意寄付金をお願いしたところ、多くの会員企業・個人会員からご支援を頂きました。改めて厚く御礼申し上げます。

また、会員数が頭打ちになっている状況下、諸経費の上昇、日本人会各種行事、各地域分会、婦人会、同好会活動へのサポート・支援の充実、青島日本人学校に対する拠出金の増額等を行うため、1990年の会創設以来一度も改定されていない日本人会会費の改定を3月度の理事会にて決議致しました。経済環境・経営環境厳しい折大変心苦しい決定ではありますが、会の健全な運営・発展のために、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

商工会・各部会活動・生活文化会・同好会・婦人会・日本人学校運営状況等、個別の活動の詳細につきましては、これより各担当理事の方よりご報告させて頂きませんが、これらの個々の活動のすべてにわたって、会員各位のご支援・ご協力に対し重ねて御礼申し上げるとともに、日本人会活動への更なるご支援をお願い申し上げ、私のご報告とさせて頂きます。

<附>

第6条本会の年会費は以下のように定める。

- 1 正会員の会費は年額2,000元とする。
- 2 会費は原則として4月中に納入するものとし、
年度途中の入会であっても年度分を一括納入し、月割り計算は行わない。
- 3 上記正会員の会費は、代表者(国籍を問わず)1名分を含んだ年会費であるが、代表者に加え複数の日本人(家族・子女は含まず)がいる会員企業については、人数に従い一人当たり200元を加え、会費を納入するものとする。但し、人数による会費の合計金額は、4,000元/年を上限とする。
- 4 個人会員の会費は年額200元とする。
- 5 特別会員の会費は個人会員に順じ200元/人とする。
- 6 会費の変更を行う場合、会員全体の意向を確認した上で進めるものとする。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 渡部英司
副会長 藤田雅規、竹内達児、樋口達之
高橋伸彦、広瀬俊、佐藤秀二

1. 活動実績

青島日本人会商工会は、「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的に活動しています。商工会には、専門性が高い分野別に、4つの各部会がありますが、2013年に各3-4回の部会を開催し、業界内での情報交換と懇親会を行いました。加えて、商工会全体会として、4つの部会を横断的で共通項の多いテーマを選び、全体セミナーを実施しました。

セミナーには、いずれも70名～100名の出席がありました。

(以下、日時、テーマ、講師の順です。敬称省略)

第一回(4/25)

- ・2013年 中国の経済動向
- ・JETRO 北京事務所 箱崎大次長(調査担当)

第二回(7/26)

- ・増値税・営業税の基本と流通税改革
- ・天津大野木マイツ咨询 平出和弘

第三回(8/6)

- ・中国事業の再構築、撤退、事業再編からM&Aまで。
- ・会計税務のアップデート
- ・PWC中国 後藤洋一

第四回(12/2)

- ・中国経済の現状と先行き
- ・マクロ経済の現状、14年の見通し、構造的な問題(過剰設備など)、金融面の話題
(シャドバンキング)
- ・出入国管理の最新状況
- ・日本銀行北京事務所 夏目晃裕代表
- ・JETRO青島事務所 岩渕茂顧問

経済交流はしっかりやって支えて行こうと臨んだ一年でしたが、13年末安倍首相の靖国神社参拝を機に経済環境も大きく変わりました。しかも、円安に大きく振れた一年で

したので、対日輸出企業は、強烈なコストダウンを求められ、苦心された企業が多かったのではないのでしょうか。しかし、環境が良い時も、悪い時もしっかり経営しているのが日系企業の一番の良さです。耐える時は耐え、攻める時は攻める姿勢で臨まなくてはなりません。経済の動向に目を光らせながら、対策を打つのに役立つ情報発信を心掛けましたが、少しでもお役に立てたとしたら幸甚です。

会員の皆様、総領事館、JETRO、そして講師を務めて下さった方々のご協力に、改めて感謝申し上げます。

2. 活動内容

セミナーとは別に、意見交換会と政府への提言とを行いました。

(1) 黄島区での意見交換

第4回セミナーに関連して、テスト的に黄島地区で意見交換会を行いました。セミナーや会合の開催場所を市南区だけに固定せず、従来路線を一步踏み出し、各エリアに出かけて行こうという試みでした。地元日系企業15社のトップの方々に集まって頂き、大変好評でしたので、継続発展して頂ければと思います。

(2) 提言

中国にある私達企業を守ってくれるのは、日本国政府であり、総領事館であり、地元政府です。逆に日本企業として、地元や政府に日本を理解してもらい、地元に貢献し、両国の架け橋になるのも私達の務めなのだと思います。クールジャパン、日本は大したものです。日本の良さをもっと分かってもらおうではありませんか。そして、青島市のイメージアップこそが互利合作、共同发展なのです。私達日系企業が努力するのと並行して、青島市からも投資環境の向上と充実に向けた努力をして頂きたいと願い、JETRO 青島事務所と共同で、青島市政府に提言しました。提言内容は次の通りです。

・オープン且つ多角的なチャンネルの設置

日系企業が問題と考えている投資環境について情報・意見交換ができる場の設置。

・移転に関わる対応

期間並びに費用への保証、相談窓口の明確化、開発計画の開示。

・行政諸単位における責任の所在の明確化。

・行政手続きの開示

必要な手続きと資料の全容が開示されない一部のケースについての改善、行政窓口サービスの一層の向上。

・60歳超のビザ更新或いは取得時に必要な専門家認定基準の明確化

・外国人出入境管理条例についての説明会開催

・土地登記証取得のための手続きの簡素化

・2012年9月に発生したデモで被害にあった日系企業に対する支援・サポート

皆様のお力と協力で、市政府、関係機関との意見交換の場を着実に持てるようになってまいりましたし、市政府の対応に一定の評価が出来ると思います。今ある課題を一気に改善・解決ということはなかなか難しいのですが、英知を結集して、引き続き努力を続けることが大切です。

商工会は企業の皆様に活用してもらい、他の企業や政府とのコミュニケーションを良くし、変化に対応し発展していただくための組織です。この一年を通じ、沢山のご支援、サポートを頂き、誠にありがとうございました。

以上

* 食品部会

部会長 藤田雅規

副部会長 蔭島末彦、大谷典義、井上聡

1.開催実績(講演のテーマ及び講師名)

第1回:6月21日(金) 場所:クラウンプラザホテル

1)「ISO 世界最新動向について(いまさら聞けない ISO の基礎知識)」

SGS-CSTC Standards Technical Services 住吉和仁様

2)「制度化による人件費管理・労務管理」

高貝思科技(青島)有限公司 (ゴビーズ青島) 権藤晃様

第2回:7月10日(水) 場所:クラウンプラザホテル

1)「TPP 問題の再整理ー今後の日本における食料供給及び日中貿易への影響について」 青島農業大学外国語学院 佐藤敦信様

2)「60歳超のビザ取得」「7月1日施行の出入国管理法の改定ポイント」

日本貿易振興機構青島代表処 岩渕茂様

第3回:13年9月27日(金) 場所:クラウンプラザホテル

1)「中国における製造物責任とPL 保険の概要について」

日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 小山正雄様

2)「省エネ機器の紹介『FSSC 対応 LED 蛍光灯』」

青島日創包装科技有限公司 大掛高範様

3)「省エネ機器の紹介『環境対応型断熱防水補修材』」

研光通商株式会社 村上太郎様

第4回 13年12月20日(金) 場所:クラウンプラザホテル

- 1)「中国食品安全法の改正について等」
在中国日本国大使館 経済部参事官 青戸直哉様
- 2)「省エネ機器の紹介 『省エネ蒸気ボイラー』」
三浦工業設備(蘇州)有限公司 山東分公司 門屋英雄様
- 3)「山東省労働契約条例(と出入国管理の最新状況)について」
日本貿易振興機構青島代表処 岩渕茂様
- 4)「日本人学校の運営状況について」
青島日本人会学校運営理事会 手代木和人様

第5回:14年3月14日(金) 場所:月山

- 1)「在青島日本国領事館の管内情勢及び安全情報」
在青島総領事館首席領事 加藤英次様
- 2)「出入国管理の最新状況及び会社法の改正要点」
日本貿易振興機構青島代表処 岩渕茂様
- 3)「日本人学校の運営状況について」
青島日本人会学校運営理事会 手代木和人様

2.活動報告

昨年度は会員の皆様及び講師の方々のご理解とご支援を頂き、当初計画しておりましたよりも多い年5回の開催を行うことができました。各回とも講演と質疑応答という形式で行い、内容としては上記の通り日頃の企業活動において身近なテーマから、グローバルなテーマまで幅広い内容を取り上げる結果となり、全体としては充実した部会活動が行えたかと考えております。ただ、各回の参加者が40~50人程度と当初期待しておりました人数よりは少なく、今までよりも多くのメンバーに参加して頂くことを本年度の一つの目標としておりましたので、これが課題として残った形となりました。

3.2014年度活動方針

14年度は、現地見学(食品関連施設やその他)、その後の懇親会の開催という形式を中心として活動していきたいと考えております。具体的には、見学会プラス懇親会を5月、9月、2月の年3回の開催を計画しております。

一方、引き続き青島日本総領事館、ジェトロ青島、北京の中国日本商会等との連携を密に、必要に応じて部会開催以外の活動も検討してまいります。

* 繊維部会

部会長 竹内達児

副部会長 鈴木純一、山田眞久

1. 部会開催状況

2013年度は、6月、10月、3月の3回、部会を開催致しました。

第一回目は、2012年度に計画を中止した黄島地区での現場視察及び会合を行いました。黄島港内は、通常許可が無いと入れない地区となっており、見学のみであったが貴重な経験となりました。

第2回目、第3回目は、青島市内のホテルにて会合を行い、近郊で懇親会を開催致しました。

第1回 6月14日 見学場所:黄島港湾・税関

懇親会場所:ケンピンスキーホテル(自家製ビールでドイツ料理)

第2回 10月18日 会議場所:麗晶大酒店

懇親会場所:斉海魚聖(クエ鍋)

第3回 3月7日 会議場所:クラウンプラザホテル

懇親会場所:月山(すき焼き)

2. 活動内容

第一回目は、新年度に変わり会員メンバーの入れ替わりもあり、各会員の自己紹介を中心に実施致しました。

中には、日ごろの悩み、苦勞などを開示してくれた会員もおられました。

2回目、3回目は、下記、情報提供及び会社紹介をお願いし実施致しました。

① 情報提供

- ・青島領事館から管内情勢、安全情報の提供
- ・JETRO から中国国内の経済・制度、査証情報などの最新の情報提供

② 会社紹介(少しのPR)と役立つ関連情報の提供

第2回 東京センチュリーリース(株)青島分公司、王子製袋(青島)有限公司

第3回 青島海能恵通新エネルギーテクノロジー有限公司

3. 2014年度の活動(抱負、方針)

- ・参加者増の方針は継続し、部会メンバーの相互交流をさらに深めたいと考えています。
- ・内容は、従来よりも専門的な繊維関連企業に役立つ情報提供、更にお互い議論出

来るような機会を作るようにしたいです。

- ・昨年同様、市外へ出て異業種等の現場見学も実施してみたいと考えております。
- ・部会幹事が変わりますので新たな視点を取り入れながら会員の皆様の御意見、ご要望を反映した会にし、出席したら有意義であると思って戴ける活動を企画し実行していきます。

*機械・電機・化学部会

部会長 樋口達之

副部会長 蓮見昌治、田中博之、畑中俊昭

1.2013 年度活動報告

2013 年度は先ず部会会員の意向を確認する為に、アンケートを実施。第一回部会ではアンケート結果の報告、会員相互の交流を深めることに主眼を置いた。アンケートの中で希望の多かった工場見学を先ず実施しようとしたが、会員企業の中で工場見学を受入して頂くところを見出すのが困難な状況となった。結局、総領事館の御協力も得て、日本の技術で建設した中国のゴミ焼却工場の見学ということで第二回部会を実施。第三回は青島市で今後発展の見込まれる「西海岸経済新区」の視察を実施。第四回はセミナーということで 2013 年度の活動としては合計 4 回の部会開催となった。

第1回:懇談会

日 時:2013 年 7 月 1 日(月)16:30~17:45

場 所:クラウンプラザ 3 階 懇親会:「月山」

内 容:①アンケート結果の報告 ②会員自己紹介

第 2 回:工場見学

日 時:2013 年 11 月 19 日(火)14:00~15:30

訪問先:青島小潤西都市生活ゴミ焼却工場

第 3 回:視察

日 時:2014 年 1 月 17 日(金)09:30~13:00

視察先:青島西海岸経済新区モデル館

面談先:青島西海岸投資促進有限公司

懇親昼食会

第 4 回:セミナー

日 時:2014年2月10日(月)16:00~17:30
場 所:クラウンプラザ 懇親会:「月山」
内 容:「三中全会後の習近平体制下の中国」
講師:平塚真二(三井物産戦略研究所 アジア室長)

2. 2014年度の活動(方針・抱負)

- ・一般的なセミナーは商工会に集中していく方針となっているので、部会では部会の特色のある活動、並びに部会会員の交流を中心に活動を進めていく。
- ・部会長が交代することもあり、新たな幹事にて会員の皆様の期待に応えられるような活動を実施したい。

*流通サービス部会

部会長 高橋伸彦
副部会長 根占浩司 廣田至夫 船越隆之

1.総括

流通サービス部会は、運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つめるのが大変な中、なるべく皆様に興味を持って頂くようなテーマの講演を企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用頂ければと考えております。

今年度は、以下の通り4回の部会を行いました。

第一回は、中国国内販売に焦点を当て、「新規取引先の信用調査」と「取引信用保険」をテーマとした講演を行いました。中国国内販売の強化は多くの日系企業にとって重要なテーマであり、それに役立つ興味深い内容であったと思います。

第二回は、ロングライフ様のご協力による老人ホームの見学会を行いました。中国でもシルバー産業が将来有望と考えられていることから企画したもので、日本流のサービスが中国でどのように受け入れられているのかを実際に見る貴重な機会ともなりました。

第三回は、税務アップデートセミナー。KPMG 北京から講師をお招きし、中国の日系企業が直面する税務問題について分かりやすく講義をして頂きました。

そして、第四回は全日空の現役のキャビンアテンダントによるセミナー。顧客満足度アップのためのコミュニケーションの技術と題しキャビンアテンダントとしての実体験もまじえながら、興味深いお話を伺うことができました。

2.活動内容

第1回 2013年6月28日(金) 場所:クラウンプラザホテル 懇親会:月山

① 講演「新規取引先の信用調査のポイント」

青島三人行財税管理諮詢有限公司

② 講演「取引信用保険について」

日本興亜火災保険(財産)有限公司 科法斯(上海)信息服务有限公司

第2回 2013年11月23日(金) 場所:クラウンプラザ3F 懇親会:月山
老人ホーム見学会 国際頤養中心(ロングライフ)

第3回 2014年1月14日(火) 場所:クラウンプラザ3F 懇親会:月山
講演:「税務アップデートセミナー」
(中国税務の最新動向及び日系企業が直面する税務問題)
KPMG 北京事務所

第4回 2014年3月5日(水) 場所:クラウンプラザ3F 懇親会:月山
講演:「顧客満足度アップのためのコミュニケーションの技術」
全日本空輸

3.次年度について

できるだけ多くの会員に参加頂けるよう企画に工夫をこらして参りたいと考えています。講演のテーマや会のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければと思います。

今年度は、春、秋、冬の3回程度の開催を予定しています。第1回は年度初めの顔合わせの意味もあり、盛大に懇親会を開催する予定です。ぜひ皆様の参加をお待ちしております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 江口規和
副会長 藤田雅規 加藤英次、清水雅彦、
船越隆之、大芝光輝、竹本伸輔、

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や地域貢献活動、生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「6つの同好会(2014年4月1日現在)」が帰属し、其々が青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書室「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けております。

また、日本人会の皆様の安全を確保し、快適な青島での生活を送って頂くため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

主な行事活動

2013年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催で様々な行事を企画し、会員の皆様のご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2013年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、ご報告申し上げます。

1.6月22日(土)「青島日本人会運動会」

昨年同様青島日本人学校の体育館にて開催。当日は約160名の方が参加し、赤、青、白組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競争、綱引き、紙飛行機飛ばし、玉入れ競争、スプーンピンポン玉リレー&ラグビーボールキックリレー、大脱走、棒取りゲーム、など今年新たに企画されたゲームも加わり、大いに盛り上がりました。普段の運動不足も吹き飛ばし、汗も飛ばしながら、最初の競技であるビーチボールバレーから歓声が沸き上がり、真剣勝負そのものの姿は、互いに取り合う1点、1点に一喜一憂していました。

大きな怪我、事故もなく、最後まで全員が精一杯スポーツに熱中する姿は非常に美しいものでありました。

ご家族でのご参加の姿も多く、お父さん、お母さんは子供に普段とは違う姿を見せる良い機会となったものと思われ、ご家庭でのご歓談への一助、またお父さんの家庭内でのお立場が良くなったのでは、と思考する次第です。

2. 6月22日(土)「『健康と医療』の講演会」

青島日本人会運動会終了後、場所を日本人学校多目的室に移し開催致しました。講演を二部制とし、第一部を「全ては口から始まる～健康・美」をテーマに高田 朋太郎先生(あつたの森歯科クリニック院長)に、また第二部を「さあ今でしょう！日本からの医療サポート」をテーマに高橋 信雄先生(高橋ファミリークリニック 院長)にご講演を頂き、健康の重要性を改めて認識することとなりました。運動会で体力を消耗し疲労困憊状態ではありましたが、出席者は先生方のお話真剣に聞き入り、非常に有意義な講演となりました。

3. 7月13日(土)「納涼祭り」

本年度、初の試みとしてここ2年超温めてきた企画を実行することが出来ました。まだ、環境的にはこのような形で日本人が集まる会の開催は難しいところがありましたが、皆様のご協力、ご支援により無事開催が出来ました。当日は朝から小雨、霧という悪天候ではありましたが、朝から準備を開始する関係者の面々は「子供たちのためにやるんだ」という熱気に溢れ、その甲斐もあってか、どうか雨も上がり、無事実行することが出来ました。金魚すくい、的あてなど、日本の伝統的な夏祭りの風物詩に加え、御出展頂いた美味しい料理、更にはビールなどのアルコールも飛ぶように売れ、ご婦人主導による盆踊りも盛況に行われ、東の間の日本の雰囲気味わって頂けたのではないかと思います。

4. 10月26日(土)「社会奉仕活動」

昨年度の総会の際に申しあげました通り、中国に暮らす我々が現地に何か出来ないか、という中で考えておりました社会奉仕活動を今年度は実施することが出来ました。石老人海水浴場での清掃活動ということで、当日は趣旨にご賛同いただいた中国人の皆様を含め200人を超える方々にご参集頂き、1時間超もの作業を行いました。残念ながら、予想とは違い、海岸は非常に綺麗に清掃されていたことから若干の落胆もありましたが、参加者は海岸をそれぞれが歩きながらごみを回収し、心地よい思いで活動を終えることが出来ました。

5. 11月15日(金)～11月17日(日) 青島ジャパండిイ開催

前年度3月に引き続き、今年度は11月に3日間、青島日本人会、在日本総領事館及びJETRO等の主催により青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパండిイが開催されました。今回は、くまもん、ウルトラマンもはるばる日本から駆けつけ、そのショーでは中国人を含め参加者を喜ばせてくれました。中心とする会員企業7社を含む日本食、日本製品などのブースが出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介を行いました。

週末には多くの来場者がブースを訪問、試食や実際の商品を手にとり、購入し、日本への関心が大いに高まったのではと思います。昨今の中国人の訪日人口の増加は嬉しいニュースですが、まだ訪日していない方々へのジャパンプランドのご紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力、などを発信する目的は十分果たせたと思います。

6. 1月18日(土)「新年会」

青島日本人会最大のイベントである新年会は、今年は場所を青島魯商凱悦酒店石老人(Hyatt Regency Hotel)に移し、初の昼間の開催とし、大人・子供合わせて約350名の会員の方々に参加頂き、盛大に開催出来ました。

市内からの場所が離れていることからバスを用意し、ご家族にも参加しやすい昼間の開催としましたが、開催したホテルの全面的なご協力を得て、混乱もなく、大いに盛り上がる事が出来ました。

獅子舞により開会、ホテルが趣向を凝らした料理に舌鼓を打った後、今年初の試みとして日本人学校生徒による和太鼓を会員皆様の前でご披露頂きました。厳しい日本人学校の状況ではありますが、青島に暮らす子供たちの凛々しい様子、また素晴らしい演奏に感動の波が何度も押し寄せました。

「日本人学校の先生、生徒による学校紹介、校歌斉唱」「同好会紹介」と続き、いよいよ毎年恒例の豪華景品があたる「プレミア抽選会」では、会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表される度に大きな歓声が沸き上がり、今年は例年以上に多くの商品があり、当選者から笑みがこぼれていました。

抽選会の余韻が残る中、最後に「万歳三唱」で中締めとしお開きとなりました。

インフルエンザの流行から参加申し込みをしていたのに参加出来なかった方もおられたようで、是非参加したかったの声も頂戴しましたが、参加者はそれぞれが日本流に新年の挨拶を交わしながら、個々に交流を深めて頂けたのではないかと思います。

この他、直接的ではありませんが、ボランティアとして開催されている「チャリティー銀都フリーマーケット」のお手伝いもさせていただいております。日本人の行っている一つの活動としてご紹介申し上げます。

本年度実施しました運動会、納涼祭り、社会奉仕活動、青島ジャパンデイ、新年会、などの開催にあたっては、様々なご支援、ご協力を頂いた関係各位、まだまだ経済環境厳しい中、多くの景品をご提供頂いた会員企業の皆様、開催前の事前準備、当日朝早くから会場で準備を頂いた皆様、会運営にご協力頂いた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆様のお蔭で、会員相互の交流・親睦を深める非常に有意義な行事とすることが出来ましたことを改めて御礼申し上げます。

引き続き、生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加

を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」の発刊。日本人が多く住んでいる銀都花園にある「チンタオ文庫」、ただし、現在は一時的に場所を新聞中心 4 階に移し、運営をしております。

更に、婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨットの体育会系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大気汚染、鳥インフルエンザなど私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と一緒に活動しています。以下、それらの活動報告を載せましたので、ご一読頂ければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

*ちんたお文庫活動報告

前期役員 前島、山村、渡邊

後期役員 山村、渡邊、稲本

文庫蔵書総数	約 6000 冊(引越に伴い、約 2000 冊の不要蔵書の廃棄を行った)
新規会員年間総数	43 人
年間利用者延べ数	1789 人
寄贈本年間冊数	1201 冊

役員活動内容

- ・アルバイトへの仕事内容指示、チェック(週に一度)
- ・アルバイト休みの際の開館
- ・文庫休館のお知らせ作成
- ・文庫内の大掃除・蔵書整理(古い本の処分など)
- ・延滞者、帰国者などの管理

今年度活動報告

- ・役員会 7回(内日本人会にて2回)
- ・大掃除、蔵書整理 3 回
- ・重複本、古い本を銀都祭りにて無料配布
- ・ちんたお文庫内にてイベント(ストーリーテリングなど)の開催
- ・新規会員登録会
- ・漏水による修理
- ・ちんたお文庫の引越

総括

2011年1月に銀都花園内に移転したちんたお文庫は、現在では多くの方々に認知され身近な存在となりました。

昨年度は停滞していた来館者数も、今年度は前年度をわずかに下回る月があったものの、全体的に増加傾向にありました。特に子供の来館者数の増加が非常に顕著であり、前年度は全体の3,4割程度だった利用者数が、今年度は大人とほぼ同数という全体の5割にまで増え、昨年度比253名の増加の内220名が子供の増加という結果になりました。(※利用状況資料 参照)

子供の利用者数増加につきましては、文庫内において月に一回ストーリーテリング等のイベントを行うことで、定期的に文庫へ足を運ぶ子供が増えると同時に、児童書など子供向けの寄贈本も大幅に増え、大人だけでなく子どもたちにとっても身近な憩いの場となりえたからだと考えられます。

利用物数増加が一過性のものとならないように、引き続き子供も利用しやすい身近な存在となれるよう工夫をしていきたいと思えます。

次年度への課題

本年度は利用者の増加と共に皆様からたくさんの寄贈本をいただいたので、蔵書整理を更に大胆に行い、利用者の皆様が読みたい本をすぐに手に取っていただけるような環境づくりが必要になっていました。特に児童書の増加に伴い「子供向けの本が選びにくい」とのご指摘もいただきましたので、幼児向けから高学年向けまでを一括して児童書と分類、収納することについて、再度検討が必要だと考えていました。

しかし、3月末にちんたお文庫の引越が決まり青島国際新聞中心4階の花園さんの所へ緊急避難という形で一時的に移動することが決まりました。今後の活動詳細については未定となっていて、今後ボランティアメンバーのちんたお文庫への関わり方についても検討の必要があります。

また、ちんたお文庫が銀都花園から遠くなってしまうことで、子供の利用増加が一過性のものとなってしまうと懸念しています。今年度はたくさんの児童書を寄贈していただきましたが、気軽に子供だけで利用することが難しいということが大きな課題となり、これまで同様子供も利用しやすい身近な存在となれるよう工夫が必要になると思えます。ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。日本の書籍が手に入りにくい青島に住む日本人にとって身近な憩いの場となっています。これからも様々な年齢の方々に利用しやすい図書館となるよう、皆様のご協力とご理解を重ねてお願い申し上げます。

※ 利用状況資料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	12月	1月	2月	3月	合計
本年来館者①	140人	185人	199人	152人	172人	134人	122人	101人	106人	114人	1791人
(子供)	-67	-91	-106	-71	-84	-65	-56	-42	-55	-55	-876
昨年来館者②	105人	125人	126人	167人	144人	132人	141人	134人	95人	140人	1558人
(子供)	-43	-60	-59	-79	-73	-61	-63	-45	-28	-59	-657
増減 ①-②	35	60	73	-15	28	2	-19	-33	11	-26	253
(子供)	(+24)	(+31)	(+47)	(-8)	(+11)	(+4)	(-7)	(-3)	(+28)	(-4)	(+220)
新規会員	9人	7人	6人	2人	2人	2人	6人	2人	2人	1人	43人

* 情報誌「月刊青島」

編集長 加藤 英次

「月刊青島」は、青島日本人会生活文化会が発信するWEB情報誌です。2009年6月に創刊され、昨年9月には創刊から50号を迎えました。2013年度は、月平均1100回を超えるアクセスがありましたが、これは前年度の月平均900回を上回る状況でした。「月刊青島」は、「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目途に発信しています。「月刊青島」は、総領事館、ジェトロ及び青島日本人学校からのお知らせ、毎月の特集のほか、公認同好会だより、婦人会通信、グリーン放弾等のコーナーやちんたお文庫だより、イベントカレンダー、会員動向等の情報を掲載しています。昨年度は、青島物語の転載、我が社の自慢、べんどおのバスに乗ろう、小三の青島放浪記の連載を始めました。日本人会会員の皆様の役に立つ生活情報や、「青島」における「縁」と「絆」を大切にして多くの会員の皆様に誌面に登場していただけるようなコーナーを、2014年度も掲載していきたいと考えております。

日本人会会員の皆様のご協力・ご支援をいただき、そして皆様に支えられて「月刊青島」の発信を行っています。毎月、編集会議を行っていますので、WEB情報誌や編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また、「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

(参考)2013年度「月刊青島」特集

4月号 「プロに聞く！青島不動産事情」

5月号 「新体制スタート！新会長・理事の皆様のご紹介」

6月号 「青島に日本人学校あり！」

7月号 「流通サービス部会同席レポ」

- 8月号「今年はビール祭りを楽しもう」
- 9月号「お役立ち！青島情報ブログ&サイト」
- 10月号「読書の秋！青島で読書を楽しもう！！」
- 11月号「言葉を通じて日本文化を伝えたい 日本語教師座談会」
- 12月号「休暇直前！青島出発の海外への直行便フライト」
- 1月号「年賀コメント」
- 2月号「新春放談 今年の日本人会について」
- 3月号「中国語を学ぼう！！」

***安全活動委員会**

外地で安全・安心な生活を送るために環境情報、講演会の実施をタイムリーに行います。本年も、5月16日、在中国日本国大使館より医務官の派遣を頂き、鳥インフルエンザの発症例と対策について麗晶大酒店にて総領事館との共催で講演会を開催しました。

安全・生活面におきましては総領事館からのメルマガが適宜発信され、また、日本人学校において父兄を対象に大気汚染と健康について 講演会が開かれています(12月24日)。日本人会としましては総領事館、日本人学校と関係を密にしながら情報伝達に勤め、安全ネットワークとしてケイタイによる伝達のメンテナンス、更新をして精度を上げてゆきたいと思えます。

***各同好会および婦人会活動報告**

***婦人会活動報告**

会員数:30名(2014年4月現在)

毎年4月に行われる総会、年2回の定例会、12月に行われるクリスマス会が活動の中心です。定例会ではイベントを開催し、昼食をとりながら会員相互の紹介をし、親睦を深め、青島での暮らしに係わる 情報交換などを行っています。また新しく青島に来られた方が1日でも早く青島の生活に慣れるように様々なアドバイスやお手伝いをしています。

活動報告

総会・定例会の開催に加え、6月・10月には交流会を開催しました。前年度同様、婦人会専用 Yahoo メールアドレスを引き続き使用し、大使館、日本人会から配信されるお知らせ、各種イベントや 生活情報、同好会や女性を対象としたイベントの案内を配信しております。婦人会活動を広く多くの方にご覧いただくことを目的に、チンタオ

web 様のご協力の下、無料にて チンタオ web 上に掲載中です。また、日本人会の web マガジン「月刊青島」にて婦人会の記事を連載しました。様々な店舗様ご協力の下、割引や特典が付く婦人会カードを発行しました。

***活動内容**

- 4/23 総会 27 名参加
- 6/19 黄島バスツアー 17 名参加
- 10/21 鼎泰豊小籠包作り 19 名参加
- 12/5 クリスマス会 27 名参加
- 6/14 青島大学との交流会 役員 4 名参加

青島日本人会生活文化会内の組織として、青島に在住される日本人女性の親睦・交流の場となるような イベントや懇親の機会を企画し、より多くの方が気軽に参加できる形を整えていきたいと 思います。また、メールによる生活情報発信、日本や青島外からの問い合わせには個別に対応することで、新たに青島へ来られる方の海外生活への不安を取り除き、新生活がスムーズにスタートできるよう バックアップしていきます。会員の皆さんが楽しく有意義な青島生活が送れるように婦人会の輪が 大きく繋がり合うことに微力ながら努力していきたいと思っております。

***ゴルフ同好会活動報告**

会長 小森茂樹
事務局長 山口真一

2013 年度	開催日	開催地	参加人数
第 101 回	5 月 18 日	海洋旭宝	45
第 102 回	7 月 6 日	嶺海温泉	43
第 103 回	8 月 31 日	石老人	47
第 104 回	11 月 2 日	青島華山	38
		延べ参加者数	173

お蔭様で昨年度(2013 年度)は、上記の通り 4 回のコンペを別々のコースで開催し、毎回 50 名弱の会員に参加いただきました。昨年も、数多くの企業様、団体様から賞品をご提供いただきました。賞品をご提供くださった企業様、団体様各位に改めて感謝の意を表しますと同時に、今後とも広く会員の皆様方よりのご協力・ご協賛をお願い申し上げます。

皆様の金銭的に負担にならない範囲(サンプル品等大歓迎)で、商品等をご提供いただければと存じます。コンペ後の表彰式及び懇親会では会社名を掲げて、ご協力に対する敬意を表明したいと考えております。

ご賛同いただける企業様、個人様は、是非とも事務局にお申出をお願い申し上げます。

2014年度は3月末に開幕戦を実施致しました。(華山GCにて、参加者47名) 次回は5月17日(土)の予定です。

以下の日程でコンペを予定しておりますので、これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい。(日本人会一斉メールより、ご案内を配信する予定です)

決して「敷居の高くない。誰もが楽しめるようなコンペ」を企画しておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

《2014年度日本人会ゴルフコンペ予定表》

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回数	第105回		第106回		第107回		第108回		第109回	
日	29		17		5		13		1	
曜日	土		土		土		土		土	
開催コース	後日発表		未定		未定		未定		未定	
	(開幕戦)						(納会有り)			

*テニス同好会

会長 宮前和哉
会計 大橋一夫

1.会概要

目的: テニスの技術向上と練習を通じての相互親睦と心の癒しの場の提供

会員数: 2014年3月末現在、30名(男性27名/女性3名)にて運営

会費: 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2.年間活動

定期活動: 上記した日曜日の定期練習

イベント: 10月 懇親会 12月 クリスマス会

対外試合：10月 青島杯(韓国、中国チームとの団体戦)

*送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 7,248 円

13 年度収入 33,047 円

13 年度支出 29,231 円

次年度繰越金 11,064 円

3.総括

本年もテニス好きな人が毎週日曜日銀都テニスコートに集まり練習を行いました。技術向上は当然の事ながら テニスを通じて会員の方々に心からリラックスできる場を提供する事をモットーとして初心者経験者に関わらず、幅広い年齢層を受け入れこの一年間運営してきました。会員の皆さんの協力もあり非常に良い雰囲気で運営できていると感じています。

昨年は対外試合を一度しか行うことができませんでしたが、新しく入られた方が早くなじめる為の懇親会や交流を更に深める為のクリスマス会等コート外でも活動機会を増やしました。すでに青島を離れた OB・OG の方々が青島に戻ってきた時に、いつでも気軽に寄ることが出来るアットホームな雰囲気で、2014 年も継続して運営していきたいと思えます。

* 青島ソフトボール同好会

会長 :小林 努(2013 年度)

大芝 光輝(2014 年度)

事務局長:上原 実

会概要

ソフトボール同好会は、『ソフトボール及び野球を愛する会員の相互親睦と技術向上を主たる目的とする』をモットーとして活動している。2013 年 12 月末現在、一般会員 69 名(男性 64 名/女性 5 名)が在籍し、運営は小林会長が会員より選任した 21 名により構成される委員会(運営・渉外部、企画部、会計部、広報・事務局の計 5 部門)により行われている。試合は科技大学グラウンド(崂山地区)にて毎週日曜日の午前 8 時 15 分～正午に行われ、年会費は男性 600 円・女性 400 円・学生 300 円・家族および夫婦 800 円となっている。

年間活動

上海開催の華東地区ソフトボール大会では、帰国者・転勤者とも多かった5月は2チームでの参加となり、しかも初の無冠に終わり悔しい思いをした。しかしながら、11月には再度3チームにて参加し、1部リーグで初となる青島2チームによる決勝戦が行われ、「優勝」と「準優勝」を獲得、更に3部リーグでも「準優勝」となり、青島3チームが上位独占という過去最高の結果を得る事が出来た。この他にもボーリング大会・ゴルフコンペ・BBQ大会など多彩な行事を開催した。

「2013年 月別活動実績」

	リーグ戦以外の行事など	賞品協賛
1月	ドラフト会議／新年会／ボーリング大会	
2月	上海に遠征し対外(親善)試合	
3月	リーグ戦(前期)開幕／プレイボールパーティー	
4月	青島にて杭州チームを招き対外(親善)試合	
5月	第8回華東地区ソフトボール大会、清酒チームベスト4、焼酎チーム予選敗退	
7月	前期終了／バーベキュー大会／後期開幕	朝日緑源様
8月	青島にて上海チームを招き対外(親善)試合	
9月	黄島へ遠征し黄島チームと交流試合	
10月	日本(大阪)にてOBチーム対現役チームの交流試合	
11月	第9回華東地区ソフトボール大会、 1部リーグ(BERRチーム優勝、焼酎チーム準優勝)、3部リーグ(清酒チーム準優勝)	
12月	後期終了／優勝決定戦／同好会総会／忘年会	
その他	日本人会主催の各種行事への参加と協力を行う。	

*ヨット同好会

代表:西垣健作

1.会概要

会員:大人10名、子ども8名

私たちは主に奥帆中心にあるマリーナで中国のヨットクラブと共同で活動を行っています。

2.活動実績

5月 昨年からの経験者(大人、子供)活動開始。

5月 初参加メンバーの為のヨット体験会を行う。

6月-7月 子どもヨット教室活動開始。(タッカー、OPビギナー、OPアドバンス)

各チーム3-4名に分かれ毎週末活動を行うクラブ内レース参加

8月 夏休み中は個人的にクラブに申し込み中国人の子どもと共にレッスンを受ける。

9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始 ヨットレース参加(10月20日)

大人は20時間のレッスンを受けた後、個人でヨットをレンタルし活動を行う。

3.今年度の目標

・子ども達は中国の子供たちと一緒に練習を行い、毎月行われるレースに参加。

・大人の会員は合同練習を提案していきたい。

大人も子どもも会員募集中です。興味がある方は是非ご参加ください。

*青島写真同好会

会長:平田至範(連絡先 15553215582)

副会長:安川誠(連絡先 18663835022)

事務局:小野洋平(連絡先 18661812066)

2013年度	月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月度	4月21日	キヤノン青島事務所	①八大関	②生き物	③自由
5月度	5月19日	キヤノン青島事務所	①路地	②新緑	③自由
6月度	6月16日	キヤノン青島事務所	①山	②静物	③自由
7月度	7月21日	キヤノン青島事務所	①夏	②水辺	③自由
8月度	8月11日	キヤノン青島事務所	①ビール	②逆光	③自由
9月度	9月15日	キヤノン青島事務所	①海水浴	②スローシャッター	③自由
10月度	10月20日	キヤノン青島事務所	①日常生活	②空(そら)	③自由
11月度	11月17日	キヤノン青島事務所	①秋	②老房子	③自由
12月度	12月15日	キヤノン青島事務所	①ぬくもり	②にぎやか	③自由
1月度	1月19日	キヤノン青島事務所	①寒さ	②朝焼け夕焼け	③自由
2月度	2月16日	キヤノン青島事務所	①春節	②美食	③自由
3月度	3月16日	キヤノン青島事務所	①ローアングル	②飛ぶもの	③自由

写真同好会では、「青島キヤノン」様のサポートを受けて、毎月一回定例会を開催しています。

撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会WEB「月刊青島」及びフリー雑誌「コミュニケーション」「NAVI」「すまいるちんたお」に掲載されます。

また、「見聞録」様のご協力で毎月入賞作品を店内に展示しています。
今後も写真撮影にご興味のある方のご参加をお待ちしております。

* 青島歴史研究会

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。本年は6月1日(土)に「青島里帰り会」を開催。日本より元在留邦人の6名、アメリカより夫妻を迎え石老人の規格館を視察の後、青島日本人学校で碑の前で黙禱。夜は総領事にもご参加いただき由緒ある「王子飯店」で「里帰り歓迎夕食会」を開催。当時のお話などを聞きました。翌日は先輩方と旧市街ツアーを行いました。詳しくは「月刊青島」7月号をご覧ください。

<http://www.qingdaojs.org/qd-nihonjinkai/gekkanqingdao/1307/page23.html>

また、11月には恒例となっています大阪での「青島会」に前名誉会長大谷吉治氏と「月刊青島」編集の増田利加さんが参加し、77名ほどの参加者との交流をしました。年々、参加者が少なくなるのはさみしいことですが、戦前と戦後をつないだ「大青島会」に向けて活動を続けたいと思います。

(4) 青島日本人学校運営理事会活動報告

理事長 手代木和人
副理事長 広瀬 俊

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

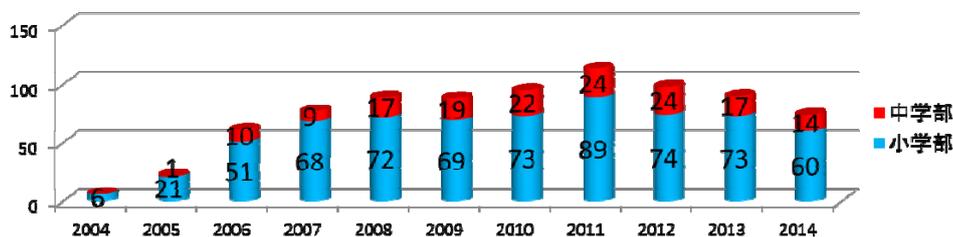
2000年にスタートした青島日本人補習授業校時代を経て、2004年に開校した青島日本人学校は、2008年に現在の新校舎が完成し、大変充実した教育環境が整いました。

「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標

の実現に向け、青島の地域性を生かした教育課程を編成し、中国の自然、歴史、文化に触れる事で、国際人としての心を育て、国際性豊かな児童・生徒の育成を目指しています。日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導の下、生徒たちは、「大家族」の様な一体感のある学校生活を送っています。

2013年度は、10月13日に創立10周年記念式典を開催致しました。今まで当校にご支援を頂きました関係者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。また、多くの企業・個人の皆様より創立10周年記念の寄付を頂戴しました(約250万円)。記念誌の発行、式典の運営費、備品・什器の購入等に充てさせて頂きました。

一方、2011年5月の118名をピークに生徒数が減少し、収入減による財政問題が顕在化した為、2012年度学校運営理事会にて、昨年10月より、開校以来据えてきた授業料の値上げ(3,000円/月→4,000円)に踏み切りました。しかしながら、その後も生徒数減少に歯止めがかからず、青島日本人会理事会によるタスクフォースを組成し検討を重ね、学校運営理事会でも討論した結果、本年1月の臨時学校運営理事会にて、授業料(4,000円→5,000円)、入学金(10,000円→15,000円)の引き上げを決定しました。



青島日本人学校生徒数推移(人)

このような現状を鑑み、本年1月には、2004年日本人学校創立時(約4,300万円)、2008年の新校舎建設時(約200万円)から行っていなかった青島日本人会会員企業に対する任意寄付金のお願いをし、本日現在12社より25万円を超えるご賛同を頂きました。引続き、青島日本人学校運営に対する、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

【組織改編】

- 青島日本人学校が、青島日本人会付属の私立学校であるとの位置付けを明確にする為、2013年4月14日付で青島日本人会規約改正し、第10条(3)に『「青島日本人学校」を本会の付属機構として設立し、本会理事会により設置される「学校運営理事会」が運営にあたる』と明記し、従来の青島日本人学校支援委員会を廃止致しました。
- 2013年5月21日付青島日本人会理事会にて、折口史明理事長(青島イオン)に代り、副理事長であった手代木和人(三菱商事)が理事長に就任し、理事

であった廣瀬俊（みずほ銀行）が副理事長に就任した。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決定
- ・ 各種報告（校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他）

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催（年 11 回）
（主な決議事項）
 - ✓ 「専任教員雇用契約書」改定（2013 年 7 月）
 - ✓ 青島日本人学校創立 10 周年記念寄付金のお祝い（2013 年 8 月）
 - ✓ 「青島日本人学校規則」改定（2013 年 9 月）
 - ✓ 「青島日本人学校運営理事会規則」改定（2013 年 9 月）
 - ✓ 青島日本人学校会計細則の制定（2013 年 11 月）
 - ✓ 現地採用教職員の任免（3 名から 2 名に）（2013 年 12 月）
 - ✓ 学費値上げ（2014 年 1 月）
- ・ 主催行事・活動
 - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会（2013 年 4 月）
 - ✓ 創立 10 周年記念式典開催（2013 年 10 月）
 - ✓ 青島日本人学校運営状況説明会（2013 年 11 月から 2014 年 3 月）
 - ✓ 任意寄付金のお祝い（2014 年 1 月）
 - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会（2014 年 3 月）

【学校案内】

名 称：青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長：登喜 龍一郎（2014 年 3 月 15 日着任）

教職員：文部科学省派遣教員（校長含む）10 名、現地採用常勤講師 2 名、
事務員 2 名

住 所：青島市市北区同安路 56 号

学 費：入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月
（別途、スクールバス・PTA 会費他）

第2号議案

2013年度会計報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

2014年3月31日
(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金 (うち233,600元は13年度会費)	480,968	1. 事務局費	205,071
2. 2013年度会費収入	292,650	2. 商工会活動費	45,903
法人社、個人	251,650	全体会	13,150
(14年度前受金)	41,000	部会	32,753
3. 臨時会費収入	130,680	3. 生活文化関連費	94,118
総会懇親会会費	49,850	婦人会	2,164
新年会会費	80,830	ちんたお文庫	33,649
4. 銀行利子	7,198	運動会	448
5. その他(寄付など)	47	月刊青島	42,831
		歴史保存会	6,749
		予備費	8,277
		4. 会議費	126,098
		総会	51,218
		新年会	74,880
		5. 日本人学校支援費	120,000
		6. ジャパンデー関連行事	40,006
		7. 情報整理(H. P改修等)	3,000
		8. 特別講演会の開催	2,400
		9. 安全対策活動費	3,000
		10. 予備費	0
		次年度繰越金	271,947
		(うち41,000元は14年度会費)	
【合計】	911,543	【合計】	911,543

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に規則り、第23期(2013年4月1日～2014年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2014年4月19日
青島日本人会 監事

後藤 俊成

清水 康継

第4号議案

2014年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	所属企業名	職位
理事	青木 邦夫	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	井上 聡	青島丸魯大食品有限公司	総経理
理事	江口 規和	阪和商貿(青島)有限公司	総経理
理事	大芝 光輝	青島光輝工芸品有限公司	総経理
理事	大谷 典義	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	蔭島 末彦	青島日東食品有限公司	総経理
理事	加藤 英次	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	佐藤 秀二	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	佐野 寛明	帝人商事(上海)有限公司 青島分公司	所長
理事	清水 雅彦	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	鈴木 琢也	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
理事	高橋 伸彦	三菱東京日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	竹内 達児	青島藤華服装有限公司	総経理
理事	田中 博之	青島松下電子部品(保稅区)有限公司	総経理
理事	手代木和人	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	根占 浩司	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	総経理
理事	蓮見 昌治	青島川電鋼板加工有限公司	総経理
理事	畑中 俊昭	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	樋口 達之	三井物産(青島)有限公司	総経理
理事	広瀬 俊	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	藤田 雅規	新日清制粉食品(青島)有限公司	総経理
理事	船越 隆之	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	山田 眞久	青島萩原工業有限公司	総経理
監事	後藤 俊哉	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
監事	清水 康継	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長

第5号議案

2014年度活動計画

青島日本人会会長
青木 邦夫

1)全般

青島での駐在期間を終えられ帰国される会員企業の方々から、青島の日本人コミュニティーは中国国内における日本人社会のなかにおきましても、まとまりのある、活気あるコミュニティーである、中国の他の都市での駐在経験もあったが、青島が一番充実した楽しい場所であったという声をよく耳にします。非常にありがたいことであると思います。

本年も引き続き、商工会活動、生活分科会活動、日本人学校の運営を中心により一層会員の皆様にとって有意義な活動、明るく活気あふれるコミュニティーの発展に向けた活動を進めていきたいと思えます。

また、在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所と緊密に連携をとりながら、市政府、各地関係機関との交流、関係強化を図っていきたくと考えています。

一方で急速に発展、変化する中国社会のなかにあつて、日本人会のあり方、運営の方法も時代のながれに合わせ、よりよい姿を求めていかなければなりません。昨年同様開かれた会の運営、全員参加型の運営を目指して参りますが、商工会活動、部会活動のより良いあり方、会員の皆様のニーズにあつた会の運営、透明性のある理事・監事の選出方法・制度の導入等、活発な議論、意見交換を行いながら検討を進めていきたいと思えます。

本年度も何卒よろしくお願ひ致します。

2)活動計画(案)

- 青島市政府機関との交流強化、青島における円滑な企業活動のための環境整備、青島在住日本人の生活環境向上のための提言活動。
- 青島日本人学校の運営
- 緊急事態発生の際の対応の整備、安全情報等各種情報の収集、発信
- 他国、他地域の日本人会、組織との交流及び情報交換
- 地域貢献活動への取り組み

3) 商工会

商工会会長
樋口 達之

2014 年度の活動方針

全人代(3/5-13)が開催され、習近平体制が2年目を迎えました。李克強首相の政治活動報告の中で、2014年の経済目標に関して、GDP伸び率約7.5%という数字が明示され、今後も安定的な経済発展を進めていく政府の方針が確認されました。一方では従来通り格差是正に取り組むことに加えて、環境汚染にも本腰を入れて取り組んでいくことが示されています。

日中関係は引き続き微妙な関係が改善されておりませんが、私達のように中国に進出している日系企業としては、経済面から日中関係改善を促すことに貢献出来ればと期待しております。そして1社でも多くの企業が、中国で成功を収め、中国と共に発展していくことを願っています。そのために、商工会としては総領事館、JETRO等と連携を取り、会員企業の皆様に役立つ情報発信を行っていくと同時に、青島市政府との関係を密にして会員企業の皆様の青島に対する経済的な貢献をアピールし、青島で奮闘されている日系企業の皆様のお役に立てるよう尽力する所存です。

(1) セミナー・部会活動について

商工会には4つの部会がありますが、今年度のセミナーに関しては一般的な内容のものについては商工会セミナーに集中して、より多くの会員の方にご案内が行くようにするつもりでおります。部会の方は部会の特色のある活動並びに会員の相互交流を深めるという形にして、商工会と部会の棲み分けを行っていくつもりです。また、現在の4つの部会は2002年に商工会の下に組織されましたが、10年以上が経過し、商工会を構成する会員のメンバーにも変化がある中で、4つの部会が現在の会員企業のニーズに即したものなのか、という点も商工会で検証していくつもりです。中国もこの10年で大きな変化を遂げており、青島日本人会商工会にも変化が出ております。そうした変化に対応して商工会としてより柔軟で且つ会員企業の皆様のニーズに対応する活動を行うことが重要であると認識しております。

(2) 市政府等との交流について

中国は共産党の一党独裁の体制にあり、日本と比べると政府機関により大きな権限が集中しています。会員企業の皆様も日々の業務の中で政府関係機関との折衝にご苦労されているものと考えております。昨年日本人会では理事会メンバーが中心となり、青島市政府事務局との接点をかなり増やしてきました。青島日本人会として青島市政府事務局とのパイプを強化していくこ

とは、商工会の活動にとっても非常に意義のあることだと考えております。今後こうした政府機関とのパイプを活かして、更に総領事館・JETROとも連携しながら、商工会として会員企業の皆様の意見を One Voice にして市政府関係に伝えることで、会員企業の皆様をサポートしていくことを進めていきたいと考えております。また、外国商工機関との交流も可能であれば検討を行くつもりです。今年度もどうかよろしくお願い致します。

4)生活文化会

生活文化会会長
江口 規和

昨年度実施した内容を基本的には継続した形で進め、特に新たに始めたことについては今後定着させていきたいと考えます。その中でも、地域貢献活動については、もう少し工夫をした上で実施出来ればと思っています。

- ① 生活文化関連活動・各種親睦活動の主催及び支援
- ② 青島日本人会運動会・納涼祭り・新年会などの企画実施
- ③ 特別講演会の開催
- ④ 青島総領事館、JETRO と連携し、青島ジャパンディの開催
- ⑤ ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑥ 各同好会・婦人会への活動応援、支援
- ⑦ 「月刊青島」を媒体とした青島生活情報の発信
- ⑧ 青島の文化・歴史についての調査、研究に対する支援
- ⑨ 地域貢献活動への支援、積極参加、推進

5) 青島日本人学校運営理事会

学校運営理事会

理事長 手代木和人

副理事長 広瀬 俊

新年度は、新たに着任した登喜龍一郎校長の下、「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標の実現に向け、青島の地域性を生かした教育課程を編成し、魅力ある学校作りを進めてまいります。

登喜校長からは、教職員に対し「最高に素晴らしい教育活動を行っているという強い自負を一人一人が常に実践していこう。」という力強いメッセージが発信されております。一人でも多くの方に青島日本人学校の魅力を実感頂き、会員企業の皆様が、安心して家族帯同で駐在員を派遣頂けるよう努力を続けてまいります。

また、残念ながら、今回の学費値上げで、財政問題が根本的に解決した訳ではありません。引続き、日本国政府、地元政府への継続的な支援要請、宣伝活動を行うと同時に、昨年度実施した保護者の皆様へのアンケートでご指摘の多かった「学校施設の有効利用」について、学校運営理事会内にタスクフォースを組成し、検討を進めていく所存です。

本年1月に実施いたしました青島日本人学校に対する任意寄付金につきまして、新規会員企業のみならず、受付を継続してまいります。

青島日本人学校運営理事会は、本校教職員共々、青島日本人会の活動にも積極的に参加させて頂き、皆様との一体感を醸成させて頂く所存です。

生徒数が一人でも多くなることを祈念して、運営理事会一同精一杯努力致しますので、皆様の引続きのご理解とご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

第6号議案

2014年度 予算案

(2014年4月1日～2015年3月31日) (単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金 (うち 41,000 元は 14 年度会費)	271,947	1. 事務局費	315,000
2. 2014 年度会費収入 法人社、個人	815,000 815,000	2. 商工会活動費 全体会・部会 地区分科会 予備費	120,000 65,000 40,000 15,000
3. 臨時会費収入 ・総会懇親会会費 ・新年会会費	145,000 45,000 100,000	3. 生活文化関連費 婦人会 ちんたお文庫 運動会 月刊青島 歴史保存会 納涼会	160,000 5,000 35,000 5,000 45,000 15,000 10,000
4. 銀行利子	8,053	公認同好会支援 予備費	25,000 20,000
5. その他(寄付など)	0	4. 会議費 総会 新年会 予備費	160,000 45,000 105,000 10,000
		5. 日本人学校支援費	250,000
		6. ジャパンデー関連行事	40,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	10,000
		8. 特別講演会の開催	30,000
		9. 安全対策活動費	15,000
		10. 予備費	140,000
		次年度繰越金	0
【合計】	1,240,000	【合計】	1,240,000